FIRE AND SMOKE DETECTION CAMERA

炎煙検知
バイスペクトルカメラ

熱画像と可視映像で、炎・煙・温度の変化を監視



工場、倉庫、設備周辺の監視に。画面内の監視エリアと温度条件を設定し、異常の早期把握と警報連携を支援します。

熱画像 256×192 ｜ 可視画像 2880×1620 ｜ IP66 ｜ H.265

PRODUCT OVERVIEW

製品の特長

熱画像と可視映像を組み合わせ、現場の状態確認、温度監視、警報連携を一つのシステムで行います。

01 熱画像と可視映像

温度状態と現場状況を同時に確認できるバイスペクトル構成です。

02 監視エリアと温度条件

画面内で対象範囲を指定し、高温や温度差による警報条件を設定できます。

03 録画と警報連携

Micro SD、NVR、クラウドへの保存・連携と、警報信号の外部出力に対応します。

主な仕様

仕様項目	掲載値
熱画像解像度	256 × 192
可視画像解像度	2880 × 1620
熱画像レンズ	7 mm / 8 mm / 10 mm 固定
可視レンズ	8 mm 固定
視野角	水平 24° / 垂直 18°
スマート IR 距離	最大 55 m
映像圧縮	H.265
保護等級	IP66
保存・連携	クラウド / Micro SD / NVR
温度警報・出力	高温警報 / 温度差警報 / 信号接点

MONITORING AND ALARM OUTPUT

監視エリアと発報連携

監視したい範囲を画面内で指定し、設定条件を検知したときに警報信号を出力する構成です。



監視エリア設定画面の例

01	02	03
監視エリアを設定	**設定条件を検知**	**警報信号を出力**
設備や保管物など、確認したい範囲を指定	温度、温度差、火点、煙、炎などを監視	警報設備などの外部機器へ連携

接続時に確認する内容

警報接点の方式、定格、結線、信号保持時間、復旧方法、接続可能な外部機器は、採用する型式とシステム構成に合わせて確定します。

スマート IR 距離は赤外線照明の到達目安であり、炎・煙・火点の検知距離を示すものではありません。

炎煙検知バイスペクトルカメラ 製品資料

SALES AND INSTALLATION GUIDE

提案と導入のポイント

本製品は既存設備を補完し、異常の早期把握と初動の迅速化を支援する監視機器として提案します。

想定する設置場所

工場、倉庫、資材・廃棄物の保管エリア、発熱設備の周辺など、温度変化や火災兆候を継続監視したい場所を想定しています。

提案時に伝えること

- 熱画像と可視映像を同じ監視システムで確認できます。
- 監視対象に合わせて画面内のエリアと警報条件を設定できます。
- 録画と警報信号を組み合わせ、現場の確認と初動を支援します。
- 本製品は消防設備の代替ではなく、既存設備を補完する監視機器です。

導入前に確認する項目

- 火点、煙、炎ごとの検知距離、最小対象サイズ、検知時間
- 蒸気、粉じん、照明、溶接、反射熱などによる誤検知条件
- 温度測定範囲、精度、再現性、校正方法、設定可能な領域数
- 警報接点の方式、定格、結線、保持・復旧動作
- ONVIF、RTSP、API、SDK、NVR 互換性、ログ出力方法

検知性能は設置距離、視野角、対象物、遮蔽物、煙の状態、環境温度に左右されるため、導入前の実機検証を前提とします。